

## EZmovie 向けコンテンツ作成ソフト「au Mobile Creator」

携帯電話初の全国エリアをカバーした映像配信サービス EZmovie は、2001 年 12 月 1 日にサービスが開始された。EZmovie では、プロモーション映像やスポーツ映像、ニュース映像など様々なジャンルの映像コンテンツが配信されていた。KDDI 研究所は EZmovie の仕様策定に携わり、符号化の国際標準規格を携帯端末向けの仕様に反映するとともに、独自の拡張機能としてテキストテロップ記述言語やコンテンツの著作権を保護する機構（著作権保護機構）などを提案した。また、放送局や映画会社などのコンテンツプロバイダに EZmovie 向けのコンテンツを制作してもらうためのオーサリングツールとして au Mobile Creator を開発し、コンテンツプロバイダからの問い合わせ等に継続的に対応した。

au Mobile Creator は、入力された複数のビデオクリップを任意の順番に並べ替えたり任意の区間を組み合わせたリするなど直感的な操作で、EZmovie 向けコンテンツを作成できる。独自のテロップ機能は文字を映像として合成するのではなく、別ストリームとして提示することで、携帯電話の比較的小さい画面における文字情報の可読性を格段に向上させた。また、映像と同期して表示する機能を実装することで、映像の内容を補完する効果を高めた。さらにテロップ機能の一つであるハイパーリンク機能により、リンク先のホームページや問い合わせ先メールアドレスおよび電話に直接アクセスを可能とすることで、コンテンツプロバイダへの送客等に対応している。

著作権保護機構は、配信する音声や映像のファイルに著作権情報を組み込み、再生できる期間や期日、回数などを限定する機能を備えた。独自に開発されたこのセキュリティ技術がコンテンツプロバイダの信頼獲得に繋がり、EZmovie 向けのコンテンツを拡充させることに貢献した。



図 au Mobile Creator